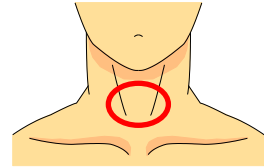


バセドウ病について

バセドウ病とは、甲状腺から出るホルモンの分泌が過剰になり、全身にさまざまな症状が現れる病気です。20歳～30歳代の女性に多く見られます。

歌手の絢香さんもこの病気にかかりしばらく活動休止していたため、聞き覚えのある方もいるかもしれません。

甲状腺は、のどぼとけの下あたりにあります。



そこからは甲状腺ホルモンが分泌されています。甲状腺ホルモンは、食べ物から吸収した栄養素（ヨード）を分解してエネルギーを得たり、新陳代謝を活発にしたり、神経や臓器の働きを調整しています。

この甲状腺ホルモンが過剰に分泌されると、全身の代謝が活発になり過ぎるためにさまざまな症状が現れるのです。

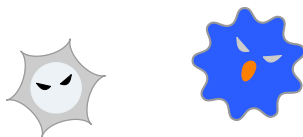
●症状

熱がる、多量の汗をかく
食欲亢進、体重減少
イライラする、感情的になる
指先のふるえ、脈が速くなる
下痢、月経不順、甲状腺の腫れ、眼球突出（眼球が飛び出る）



●原因

自分の身体を守るはずの免疫の働きが異常を起こすことが原因であると言われています。免疫機能が甲状腺を攻撃し刺激してしまうために、甲状腺ホルモンの分泌が過剰になると考えられています。



●治療方法

3つの方法があります。



<内服薬による治療>

甲状腺ホルモンが作られるのを抑えるお薬を内服します。少なくとも2年間は継続が必要です。

<放射性ヨードによる治療>

放射性ヨードが入ったカプセルを内服する治療法です。ヨードは甲状腺に集まる性質を持つため、そこから放射線を発して、過剰な働きをしている甲状腺の組織を小さくする方法です。この治療に使われる放射線ヨードは体への影響はほぼありません。通常は1度の内服で治療は完了しますが、その後も定期的な通院が必要です。

<手術>

甲状腺が大きすぎたり、内服薬に効果がなかった場合には、手術が選択されることがあります。手術では甲状腺の大部分を切除します。手術後すぐに症状は改善しますが、甲状腺ホルモンが不足することがあります。その場合には甲状腺ホルモン薬で補うことになります。

●治療後の生活について

ストレスが溜まると再発することがあるのでストレスは溜めないようにしましょう。

内服薬で治療をしている方は薬の飲み忘れに気を付けましょう。

バセドウ病の症状に当てはまると感じる場合には、病院を受診して検査を受けましょう。

病院では甲状腺ホルモンに関する血液検査を行っています。



保健管理センターの健康相談の利用も可能です。
(病院の紹介や健康相談を行っています。)